

東海大学文学部「知のコスモス」第45回講演会

(旧「知のコスモス」から通算第398回)

「メキシコ西部の石器を通して見る メソアメリカ文明の発展 —文明の周縁からの視点—」



ファン・ロドリゴ・エスパルサ・ロペス博士
(ミチョアカン大学教授・同考古学研究センター所長)

メソアメリカ文明は、現在のメキシコ中部からグアテマラ、ベリーズ、ホンジュラス西部周辺にかけて発展した複数の先住民文明の総称です。紀元前2000年頃から16世紀のスペインによる征服まで、文字・暦・都市国家・神殿建築など高度な文化を育んだことで知られています。とりわけアステカ文明、マヤ文明、テオティワカン文明などの壮大な都市遺跡や王権、宗教儀礼は、多くの研究者の関心を集めてきました。しかしその一方で、周辺地域や地方社会が、文明全体の発展に果たした役割は十分に検討されてきたとはいえません。

本講演では、ロドリゴ・エスパルサ博士をお招きし、石器研究から、中央と地方の結びつきを再考していただきます。石器は日常生活や生産活動を支えた基礎的な道具であり、その素材の移動には交易網、人々の往来、技術交流の痕跡が刻まれています。中心部の壮麗な遺構の研究だけでは見えてこない、周縁地域の主体的な活動や地域間ネットワークに光を当てることで、メソアメリカ文明を単なる「中心から周辺へ広がる文明」としてではなく、多様な地域社会の相互作用によって形成された動的な文明圏として捉え直します。

※講演はスペイン語ですが、Zoomを使用した日本語同時通訳を行う予定。

(オンラインでZoomにアクセスできる端末とイヤホンを各自でご用意ください。)



背景写真：グアチモントン遺跡 上：同遺跡出土遺物

主催 東海大学文学部文明学科 共催 東海大学文明研究所

日時 2026年5月16日(土) 13:30~15:30

場所 東海大学湘南キャンパス 14号館 14-104 教室

お問い合わせ 東海大学文学部文明学科 吉田晃章 [yoshid@tokai.ac.jp]

〒259-1292 平塚市北金目 4-1-1

※@の前はdです。

アクセス 小田急電鉄

小田急線(新宿より快速急行約60分、小田原より約25分)「東海大学前」駅下車

・東海大学前駅南口から徒歩約15分

・東海大学前駅南口から『平塚駅北口行』バス(約5分)で「東海大学1号館前」下車すぐ

・東海大学前駅南口から『秦野駅行き』『下大槻団地行き』バス(約5分)で「東海大学北門」下車すぐ

JR 東日本

JR 東海道線「平塚」駅下車

・平塚駅北口から『東海大学前駅南口行き』バス(約40分)で「東海大学1号館前」下車すぐ

・平塚駅北口から『秦野駅行き』バス(約30分)で「東海大学正門前」下車徒歩約5分

参加無料です。どうぞお気軽にご参加ください。